

前回からの主な変更点について
(120GHz 帯 FPU 報告書 関連)

○Dual Green 方式の解説の追記

該当箇所：報告書 参考資料 2

(以下の書きぶりに変更)

【旧】

800 万画素の撮像・表示素子を緑信号に 2 枚、赤・青信号にそれぞれ 1 枚ずつ用いるスーパーハイビジョンの方式。各素子の画素位置をずらし、視覚の解像度に大きく寄与する緑信号のサンプル点を 2 倍にすることで等価的に解像度を確保している。

SHV の番組制作には、現状、カメラをはじめ、記録装置、編集装置、表示装置など DG 方式の機器が用いられている。

【新】

800 万画素の撮像・表示素子を G 信号に 2 枚、R・B 信号にそれぞれ 1 枚ずつ用いるスーパーハイビジョンの方式。フレーム周波数は 60p、階調は 10 ビットで、SHV の番組制作には、現状、カメラをはじめ、記録装置、編集装置、表示装置などにおいて、この方式の機器が用いられている。

各素子の画素位置をずらし、視覚の解像度に大きく寄与する G 信号のサンプル点を 2 倍にすることで等価的に解像度を確保している（ベイヤー配列）。